

製品名: ATG4C ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85322**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 52 kDa; Observed MW: 52 kDa

抗原情報

遺伝子名	ATG4C
別名	ATG4C; APG4C; AURL1; AURL3; Cysteine protease ATG4C; AUT-like 3 cysteine endopeptidase; Autophagin-3; Autophagy-related cysteine endopeptidase 3; Autophagy-related protein 4 homolog C
遺伝子 ID	84938.0
SwissProt ID	Q96DT6
免疫原	ヒト ATG4C の組み換えタンパク質

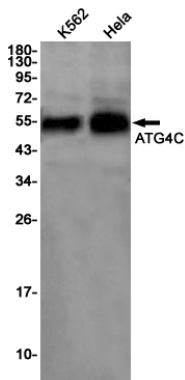
背景

オートファジーに必要なシステインプロテアーゼは、MAP1LC3、GABARAPL2、または GABARAP の C 末端部分を切断し、フォーム I を遊離させる。フォーム I のサブpopulation はその後、より小さなフォーム (フォーム II) に変換される。C 末端グリシンが露出したフォーム II は、ホスファチジルエタノールアミン (PE) 結合型と考えられており、オートファゴソームに結合する能力を有する。

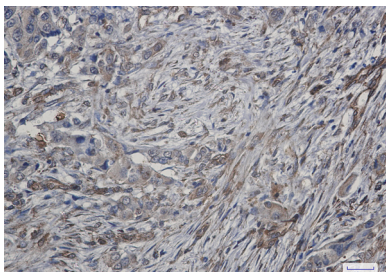
研究分野

オートファジー

画像データ



ATG4C 抗体を使用した K562、HeLa 溶解物中の ATG4C のウエスタン ブロット分析。



ATG4C 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。